

講習の名称	【選択】 中学・高校保健体育科の学習指導と授業の在り方
講習の概要	<p>①現行及び次期学習指導要領等を手掛かりに、学校教育における教科「保健体育」の位置づけ等について解説する。</p> <p>②中高生の体力の二極化を踏まえ、身体活動量の視点を踏まえた授業の在り方とその実際を理解する。</p> <p>③バイオメカニクスやスポーツ心理学等の理論に基づく指導の在り方を考察するとともに、「体づくり運動」や「球技」に関する実技指導力の向上を図る。</p> <p>④体力発達を保証する保健体育の指導計画作成の在り方を考察する。</p>
担当講師	<p>鈴木 和弘（地域教育文化学部教授）</p> <p>竹田 隆一（地域教育文化学部教授）</p> <p>笹瀬 雅史（地域教育文化学部教授）</p> <p>渡邊 信晃（地域教育文化学部准教授）</p> <p>佐々木 究（地域教育文化学部准教授）</p> <p>井上 功一郎（地域教育文化学部講師）</p> <p>池田 英治（地域教育文化学部講師）</p>
講習開設日	平成 30 年 8 月 8 日～ 平成 30 年 8 月 10 日
開設時間	8:50～16:10 (3 日間)
開催地	山形県山形市
会場・教室	地域教育文化学部 3 号館 1 階 312 講義室
対象職種	教諭
主な受講対象者	中学校教諭(保健体育)・高等学校教諭(保健体育)
受講予定人数	20 人
受講者への連絡事項 (持ち物等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学習指導要領解説(体育編) (*平成 29 年 7 月 発行) 小学校教員のみ ・ 中学校学習指導要領解説(保健体育編) (*平成 29 年 7 月 発行) 中学校教員必須 ・ 高等学校学習指導要領 (保健体育編) (体育編) (*平成 21 年版) 高校教員必須 ・ 運動着、体育館用シューズ、 ・ ノート、筆記用具、USB ケーブル、ノート PC ・ * (必携ではないが、持ち込んでも可)
評価基準	<p>合格基準</p> <p>① 講習時間帯すべてに出席していること (受講態度も含む)</p> <p>② 試験は 65 点以上とること</p>
評価の観点	<p>評価の観点</p> <p>①教科特性と教師に求められる資質を理解している。</p> <p>②特に体育分野における優れた授業について説明し、実践できる。</p>
その他特記事項	